PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

52-017136

(43) Date of publication of application: 08.02.1977

......

(51)Int.CI.

F02P 3/02

(21)Application number: 50-093140

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

01.08.1975

(72)Inventor: TSUTSUI MITSUKUNI

WATANABE HIROSHI

(54) IGNITIOB COIL

(57)Abstract:

PURPOSE: There is provided an ignition coil for internal combustion engine which is simple in construction, prevents a generation of cracks in the interior of the secondary coil when an electrical insulation treatment is provided by an insulation varnish for primary and secondary coils, is superior in its productivity and has a good insulation.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)



2000年年 第 2000年紀

(4,000円)

昭和 50年 8 月 1

特許庁長官 殿

発明の名称間

茨城県勝田市大字高場2520番地 株式会社 日立製作所 佐和工場内

特許出願人

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 株式会社 日 立 製 作 所 **電話東京 270-2111 (大代表)**

50 093140

発明の名称 点火コイル

特許請求の範囲

鉄心と、該鉄心上に層間絶縁紙を介して巻回さ れ、かつそれぞれ絶録ヮニスを注入含憂し加熱硬 化した一次コイルおよび2次コイルとを備える点 火コイルにおいて、一次コイルと二次コイルとの 間に、二次コイルの層間絶縁紙に比べて前記絶縁 ヮニスが接着しにくい 絶縁 紙を介在させたことを 特徴とする点火コイル。

発明の詳細な説明

本発明は点火コイルに係り、特に内燃機関に使 用される点火コイルに関する。

従来より、鉄心を内蔵させたポピン上に一次コ イルおよび二次コイルを巻装し、これらのコイル に、エポキシ湖脂もしくはポリエステル樹脂等よ りなる絶縁ワニスを注入含炭し加熱硬化して一次 コイルおよび二次コイルの絶縁、特に数十mの高 軍圧を発生する二次コイルの絶縁処理を施した点 火コイルは公知である。

19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 52-17136

④3公開日 昭52.(1977) 2.8

②特願昭 50-P3/U0

22出願日 昭50 (1975) 8 . /

審査請求 未請求 (全3)頁)

庁内整理番号 6933 51

②日本分類 6/ 922/

(51) Int. C12. 3/02 FO2P

しかるに、上記手段による絶景処理においては 絶縁ヮニスの加熱硬化時の収縮によつて発生する 応力により二次コイルの内部に亀裂が発生すると いら弊害が起つている。との亀裂は、絶縁処理す るものの内径と外径との比、すなわち鉄心上に一 次コイルを巻回し、その外周に二次コイルを巻回 した点火コイルの場合において一次コイルの内径 と二次コイルの外径との比が大きい程発生し易い。 近似式による計算および実験の結果によれば、と の比が約25以上になると亀裂が発生することが 判明した。

との亀裂の発生を防止する手段としては、例え ば加熱硬化する際に、注入含受した絶縁ワニスの 硬化時の収縮によつて発生する応力以上の圧力を 加えて絶縁ヮニスの硬化時に発生する応力を吸収 したり、あるいは一次コイルと二次コイルとを分 離して別々に絶縁処理することにより内径と外径 の比を小さくすることがあるが、いずれも作業性 が差しく悪く、生産性の向上の大きな障害となる 本発明の目的は、上記した従来技術の欠点を解

消し、簡単な構造で一次コイル、二次コイルの絶 緑ワニスによる絶縁処理時の二次コイル内部の亀 裂の発生を防止し、生産性に優れ、かつ絶縁性の よい点火コイルを提供するにある。

本発明は、一次コイルと二次コイルの間に、二次コイルの層間絶縁紙に比べて前記絶縁ワニスが接着しにくい絶縁紙を介在させることにより、一次コイルと二次コイルとの間の部分の亀裂に対する強度を二次コイル内部よりも低下点はて、絶縁、フニスの加熱硬化時の亀裂をこの一次コイルと二次コイルとの間に発生させるようにし、二次コイルの内部に亀裂が発生しないようにしたものである。

以下本発明を図示の実施例につき説明する。図において、鉄心1を嵌入したポピン2の間上に、一次コイル3 および二次コイル4 が顧次巻回されている。一次コイル3 は線径 0.3~1.0 m程度の絶縁電線を一層当り数十回ずつ、各層間にクラフト紙等の質問絶線紙を入れて数層に渡り合計100~300回程度巻回してなる。二次コイル4 は線

と二次コイル4との間に絶縁紙5を有するため、
絶缘ワニス6の加熱硬化の際の収縮により生する
を力によつて発生する
を裂に対する一次コイル3
と二次コイル4との間の部分の強度は二次コール
4 の間より低くなる。したがコイル3
6 の加熱硬化時の
8 製は一次コイル4の層間に発生し、一次コイル4の層間に発生し、二次コイル4の巻約でいる
と二次コイル4の巻がないなける
と二次コイル4の巻がないない。
なが、一次コイル4の節部になける
を必ずるといる
と二次コイル4の巻がないの
と二次コイル4のをは
と二次コイル4の節部にない
の存在は
を発性能に
ないるとはない。

以上、本発明に係る点火コイルによれば、一次コイルと二次コイルとの間に、二次コイルの層間
絶縁紙に比べ、コイル部に注入含浸される絶縁ワニスが接着しにくい絶縁紙を介在させただけの簡単な構造により絶縁ワニスの加熱硬化時に二次コイル内部に亀裂が発生するのを完全に防止できると共に生産性が優れ、かつ絶縁性能が優れる効果が得られる。

径 0.05~0.1 m程度の絶縁 電線を一解当り数百回 プロ、各層間に一次コイル3と同様のクラフト 紙等の層間絶縁紙を入れて数十層に渡り合計 10000~30000回程度巻回してなる。

一次コイル3および二次コイル4の間には絶縁 紙5が1~2回巻装されている。これらのコイル にはエポキン樹脂等の熱硬化性樹脂よりなる絶縁 ワニス6が注入含受された後加熱硬化されている。 前記した一次コイル3および二次コイル4の間の 絶縁紙5は、二次コイルの層間絶縁紙に比べて前 記絶縁ワニス6が接着しにくい材質で、例えばポ リプロピレンフィルム等よりなる。

一次コイル3の巻始め端は一方の一次端子7に 接続されており、同巻終り端は他方の一次端子8 に接続されると共に二次コイル4の巻始め端とも 接続されている。二次コイル4の巻終り端は高圧 端子9に接続されている。上記構成部品は熱可塑 性の合成樹脂10により一体にモールド成形されている。

上記禕成の点火コイルにおいて、一次コイル 3

図面の簡単を説明

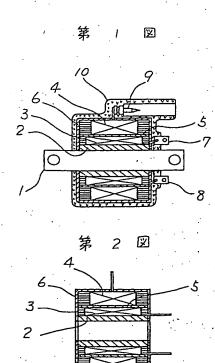
第1図は本発明に係る点火コイルの一実施例を 示す縦断面図、第2図は同実施例の要部を示す縦 断面図である。

符号の説明

- 1 鉄心
- 2 ポピン
- 3 一次コイル
- 4. 二次コイル
- 5 絶禄紙
- 6 絶縁ワニス

代理人 弁理士 高橋明夫





添附证	評衡の)月録						
(1	93	10	20	ו במבנ	.'			
. (2) (23		弱	ı iği t			•	
(3)	æ	Æ	钛	1 23			•	
(4)	特許	解 . 时	*	1 🕮			•	
		<u> </u>		_ وسا				•
前記以	りかの	発明者	新、特別	午出願。	人または	代理人	•	
発	明	₹	ž .		•		•	
	ä.	" În	茶切		ンサイワイサョロ		1 悉 1 長	
	12.	***	-	-	E # 15/19	7/B		ショナイ
			株式	会 社	日立製	作所 」	3 立研究	
	œ.	* *1				ワク 渡	辺	博

THIS PAGE BLANK (USPTO)